

第179回 教育研究評議会要録

日時	令和2年1月22日(水) 13時00分～15時22分
場所	第一会議室
出席者	今岡学長、藤原理事、小路田理事、小川理事、成瀬副学長、三成副学長、吉村副学長、春本副学長、久保副学長、野村文学部長、渡邊理学部長、黒子生活環境学部長、高田人間文化研究科長、石崎、中山(満)、上江洌、棚瀬、中山(徹)、林井、柳澤各評議員
欠席者	井深理事
列席者	酒居監事、福田監事、岩阪事務局次長/総務・企画課長、桑原国際課長、川村研究協力課長、林財務課長、清水施設企画課長、鱸学務課長、西村学生生活課長、仲入試課長、横井学術情報課長

議事に先立ち、前回の記録の確認。報告事項1の説明者を工学部設置準備会の中心メンバーの藤田盟児教授にお願いしており、説明及び意見交換の間列席することの説明があった。

I 審議事項

1. 中期目標・中期計画の変更について

総務・企画課長から、資料1により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

2. 学内諸規程等の制定について

(1) 国立大学法人奈良女子大学学則の一部改正について

小川理事から、資料2により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

(2) 奈良女子大学における障害学生支援に関する基本方針の一部改正について

三成副学長から、資料3により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

(3) 奈良女子大学学生特別支援室設置要項について

三成副学長から、資料4により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

3. 経営協議会学外委員について

学長から、資料5により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

4. 2020年度学年暦について

小川理事から、資料6により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

II 報告事項

1. 工学部の設置について

藤田教授から、資料7により説明があり、質疑応答があった。

野村文学部長から、リベラルアーツ科目という名称にすると、全学共通科目がリベラルアーツでないと誤解を招くので、名称を見直した方がよいのではとの意見があり、藤田教授から工学部設置準備会でも同様の意見が出たが良案がない状況である、引き続き検討するので良いアイデアがあればいただきたいとの発言があった。

野村文学部長から、リベラルアーツ科目の一部科目を全学に開放するとの説明だったが、開放するのであれば工学部専門科目ではなく、全学共通科目になるのではないかと意見があり、小路田理事から、全学に開放する科目に関しては、別途全学共通科目としても科目設定することを予定し

ていること、開放・非開放の区分けについては検討中であるとの説明があった。また、藤田教授からリベラルアーツ必修科目は工学部学生全員が受講することになるので、この点も考慮に入れて開放の可否を判断する必要があるとの説明があった。

野村文学部長から、工学部におけるリベラルアーツをアピールするために、このような体系にしていると考えるが、大学全体を見た場合の教育体系に誤解を招きかねないとの意見があった。

野村文学部長から、現在のスタッフでは工学部学生を対象とした第2外国語のクラスを設定するのは難しい、理学部でも独語及び仏語のクラスはあるが、中国語のクラスが無い。工学部用のクラスを設定するには非常勤講師の配置が必要である。時間割のこともあるので、3言語について工学部クラスの設定が可能かどうか検討する必要があるとの意見があった。また、工学部の第2外国語の必要単位数について学部のコネプトとの整合性がとれているのかとの質問があり、藤田教授から、英語のみとすることも考えたが、学生の希望に答えることを優先したとの説明があった。

棚瀬評議員から、社会から望まれている点は見えるが、本学の特長が見えない。ポリシーも、女子のみの工学部という観点からのアピールが見えないとの意見があった。また、教育課程の概要に関して科目の実施場所（特に実験や実習室）の割り当てや時間割がシミュレーションされていないのではないか、3年次の後期から卒業研究を履修することが最大の特長かと思うが、その内容が示されていない、従来型の卒業研究ではなく、工学部のコネプトに合った内容にすべきであるとの意見があり、小路田理事から複数の教員で担当すること等を検討しているとの発言があった。

棚瀬評議員から、未だに定員拠出元の学部についての説明がない、教員免許課程認定にも影響があるので、本会議で協議すべきではないかとの意見があった。

吉村副学長から、科目に関する問い合わせ先について質問があり、小路田理事から事務担当に問い合わせいただきたいとの説明があった。

高田人間文化研究科長から、教養教育科目の担当者に完成年度までの4年間開講することを事前に確認すべきではないか、隔年開講の場合は申請書にその旨を明示する必要があるとの意見があった。また、工学部設置の最大の懸念は受験生確保であるとの発言があり、ニーズ調査の結果の開示について要望があり、本会議の追加資料として12月中旬時点の速報結果等を配付した。

棚瀬評議員から、入学者選抜方法について質問があり、学長から、大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査実施教科・科目は検討中であるが、数学Ⅲは必須にしない予定で、理科については試験教科とすることが望ましいと考えている、選抜区分は一般、推薦、AOを予定しているとの説明があった。

三成副学長から、リベラルアーツ科目のほとんどが理系科目である。一般的には人文科学も含めてリベラルアーツと言われているので、外部に対しての説明を考えると、実態に即した科目区分名称にすべきではないかとの意見があり、学長から、科目のバリエーションを増やすと、専門性の色が薄くなるので、優先度の高いものを科目として設定したとの発言があり、藤田教授から科目区分名称については最後まで議論したうえで決めたいとの発言があった。

三成副学長から、工学部設置に伴う人件費増額に対する予算の見通しについて質問があり、学長から、一部の非常勤講師については人件費が発生しないこと、予算の見通しは立っているとの説明があった。

林井評議員から、専門科目の中にリベラルアーツ科目を含めると、専門性が薄くなる印象を受けるので、科目区分名称を見直したほうがよいのではないかとの意見があった。

渡邊理学部長から、ピカソ入試選抜についても検討してもらいたいとの意見があった。

2. 奈良教育大学との連携協議について

学長から、資料8により、設立推進協議会の協議状況について報告があった。

3. 国立大学との徹底した対話の実施に向けた調書について

学長から、資料9により報告があった。

4. 第260回役員会について

学長から、資料10により報告があった。

5. 学外非常勤理事について

学長から、国立大学法人法の改正及び給付型奨学金の機関要件を満たすための学外理事の複数名配置の観点から、すでに報告しているDMG森精機株式会社社外取締役の野村剛氏に加えて日本赤十字社兵庫県赤十字血液センター所長の平井みどり氏に非常勤理事として就任いただくことの報告があった。なお、任期は令和2年4月1日から令和3年3月31日までで、高齢化問題について助言をいただきたいと考えており、具体の役割については検討中であるとの説明があった。

6. 大学機関別認証評価について

小路田理事から、1月から2月頃に各部局に対して自己評価書の提出を依頼することの説明があった。

7. 第3期中期目標期間の教育研究の状況についての評価（法人評価）について

小路田理事から、各部局に対して中間実績の確認依頼をしていること、達成状況報告書の作成を担当理事に依頼していることの報告があった。また、教育に関する現況調査表作成にあたって、各学部等の特記すべき事例の情報提供について依頼があった。

8. 令和2年度学内予算編成方針について

学長から、資料11により報告があった。

9. 令和2年度国立大学関係予算（案）及び令和元年度補正予算（案）について

財務課長から、資料12により報告があった。

10. 各室等からの報告について

(1) アカデミック Week の開催について

藤原理事から、資料13により報告があった。

(2) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブキックオフシンポジウムについて

春本副学長から、資料14により報告があり、参加及び部局内周知依頼があった。

11. その他

三成副学長から、学生寮の整備計画の進捗状況について質問があり、学長から当初予定どおり令和4年4月受入に向けて進めていること、小路田理事からコスト面を鑑み予算内（5億7千万、借金無）で1棟3名入居のシェアハウスに変更したことの説明があった。

三成副学長から、第65回経営協議会の議事録における学長の発言内容（「旧態依然とした考えの方が多し」）について質問があり、学長から発言の根拠について説明があった。「工学部設置構想については概ね賛成」との学長発言に関して、9月18日開催の教育研究評議会記録に記載されている生活環境学部における意向調査結果（「工学部設置については賛成16票、反対24票、白票8票」）を紹介されたのかとの質問があり、学長から紹介していないと回答があった。また、法人統合を控え、状況も変わってきているため、他大学にも例があるように、教育研究評議会委員への経営協議会議事録の情報共有及び、経営協議会への教育研究評議会委員の陪席について要望があった。学長から、両会議の役割分担の違いや本学の判断であることを認識してほしいとの回答があった。

以上